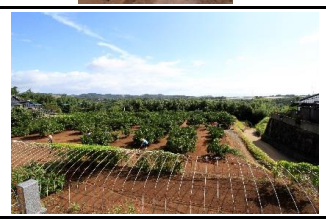
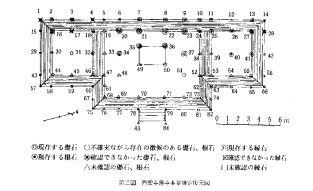
玉 東 町 の 指 定 文 化 財

整理番号	名 称		よみがな	指定年月日	指定区分	分類・種類	所在地	面積	所有者	管理者	概要	写真
1	西南戦争遺跡	半高山・吉次峠古戦場	はんこうやま・きちじとうげこせんじょう	平成25年3月27日	国	史跡	原倉2334-57外	108,648㎡	個人・町	町	明治10年西南戦争の古戦場。中央を旧吉次往還が通っている。西郷軍熊本隊が守備し、明治10年4月1日に陥落。現在は公園となっている。	
2		横平山古戦場	よこひらやまこせんじょう				二俣2445-7外	37,669㎡	個人・町	町	明治10年西南戦争の古戦場。田原坂をめぐる戦いにおいて両軍が激戦を繰り広げた。西郷軍が守備し、政府軍警視抜刀隊が投入された。現在は公園となっている。	
3		二俣瓜生田官軍砲台跡	ふたまたうりゅうだかんぐんほうだいあと				二俣1805-4外	8,929.46㎡	町	町	明治10年西南戦争で政府軍が野戦砲台を置いた場所。平成22年の発掘調査で大砲の轍が確認された。	
4		二俣古閑官軍砲台跡	ふたまたこがかんぐんほうだいあと				二俣1918-1外	5,962㎡	個人・町	町	明治10年西南戦争で政府軍が野戦砲台を置いた場所。	
5		正念寺山門	しょうねんじさんもん				木葉749	75㎡	宗教法人正念寺	町	明治10年西南戦争で政府軍が大繃帯所をおいた寺。山門が当時の形で残る。	
6		高月官軍墓地	たかつきかんぐんぼち				木葉680	2,304㎡	国	町	明治10年西南戦争の政府軍戦死者を葬った墓地。980基の墓石が建つ。現存する最大のもの。	
7		宇蘇浦官軍墓地	うそうらかんぐんぼち				木葉903-1	1,718㎡	国	町	明治10年西南西南戦争の政府軍戦死者を葬った墓地。399基の墓石がある。陸軍の他、警視隊の墓石がある。	
8	西安寺五輪塔群附板碑群等		さいあんじごりんのとうぐんつけたりいたびぐん	昭和47年6月27日	県	有形文化財・建造物	西安寺417・427	185㎡	個人	個人	鎌倉中期の五輪塔。五輪塔6基、板碑10基が指定を受けている。山北相良氏関連遺跡。	
9	西安寺跡		さいあんじあと	昭和47年6月27日	県	史跡	西安寺427	3,350㎡	個人	個人	鎌倉時代に山北相良氏によって建立された寺の跡。礎石が残存する。	
10	稲佐廃寺跡		いなさはいじあと	昭和47年10月5日	県	史跡	稲佐399	4,561㎡	個人	個人	奈良時代末期から平安時代に存続した寺跡。瓦葺の講堂、塔、金堂の礎石が確認されている。現在は、稲佐熊野座神社境内に礎石が復元されている。	
11	西原製鉄遺跡		にしばるせいてついせき	昭和60年6月11日	県	史跡	原倉636-38	39㎡	町	町	平安時代末から鎌倉時代初期の製鉄遺跡。炉跡は建屋で保護されており、外から見学可能。	
12	山北八幡宮仁王像		やまきたはちまんぐうにおうぞう	昭和49年10月24日	町	有形文化財・建造物	白木1828	19㎡	山北八幡宮	山北八幡宮	寛政4(1792)年に寄進された仁王像。盲目の人物が来世への願いを込めて寄進したと伝わる。当初は山北八幡宮の楼門にあったといわれる。	
13	原倉清田氏五輪塔附板碑群		はらくらきよたしごりんのとうつけたりいたびぐん	昭和60年10月1日	町	有形文化財・建造物	原倉1271	927㎡	本村下組共有地	本村下組	豊後国の守護職・大友義鎮が肥後国支配のために派遣した代官の一人、清田宗甫の供養塔。宗甫は天文22(1554)年まで山北21町分の代官職であった。	

14	西安寺瓦	さいあんじかわら	―	町	有形文化財・工芸品	―	―	―	―	西安寺(9)に使われていた瓦。	
15	稲佐廃寺瓦	いなさはいじかわら	昭和51年8月21日	町	有形文化財・工芸品	稲佐608-6	―	―	―	稲佐廃寺(10)に使われていた瓦。	
16	窪田家古文書	くぼたけこもんじょ	昭和51年8月21日	町	有形文化財・書跡	木葉字横町	―	個人	個人	2通	
17	伊形霊雨の墓	いがたれいうのはか	昭和45年6月1日	町	史跡	木葉字段1283	509㎡	個人	個人	江戸時代中期の詩人、伊形霊雨一族の墓。霊雨は木葉に生まれ明和2(1765)年に藩校時習館に入学。教授を務め、晩年木葉に戻って余生を過ごした。編著には『霊雨山詩集』『民草婦利』がある。享年43歳(1787没)。木葉川の麓に葬られたが、鉄道開設の際に今の地に移された。	
18	大谷石器製造所跡	おおたにせっきせいぞうじょあと	昭和45年6月1日	町	史跡	原倉字大谷2455、2456	190.660㎡	個人	町	縄文時代の石器製作所。安山岩の割石が確認されている。	
19	むくろじ製鉄所跡	むくろじせいてつしょあと	昭和45年6月1日	町	史跡	原倉字荒強当2403	6,312㎡	個人	個人	平安時代末の製鉄遺跡。ふいごの羽口等が発掘された。	
20	有栖川の宮御督戦の地	ありすがわのみやおんとくせんのち	昭和47年4月1日	町	史跡	木葉826	1,173㎡	町	町	明治10年西南戦争で政府軍征討総督有栖川宮が督戦された地。現在は公園地。中世城跡でもある。	
21	梛群	なぎぐん	平成9年12月1日	町	天然記念物	稲佐399(熊野座神社内)	―	稲佐熊野座神社	稲佐熊野座神社	まき科常緑高木	
22	楠	くすのき	平成9年12月1日	町	天然記念物	木葉1164(木葉宇都宮神社内)	―	木葉宇都宮神社	木葉宇都宮神社	くすのき科常緑高木	
23	一位樫	いちいがし	平成9年12月1日	町	天然記念物	原倉	―	個人	個人	穀斗カシ属の常緑高木	
24	西安寺神楽保存会	さいあんじかぐらほぞんかい	平成30年年4月10日	町	無形民俗文化財	西安寺	―	―	―	玉東町西安寺地区の白山宮に奉納される神楽。かつて神職によって舞われていたものが明治20年頃から地区住民によって舞われるようになった。戦後一時途絶えたが、昭和53年に保存会が発足し、現在に至る。秋の例大祭（11/9）、春の例大祭（1/9）で奉納されるほか、山北八幡宮でも奉納される。	

令和2年4月1日現在